

令和5年度



















土木工事標準積算基準書

改定資料(第1回)

令和6年4月1日

静岡県交通基盤部

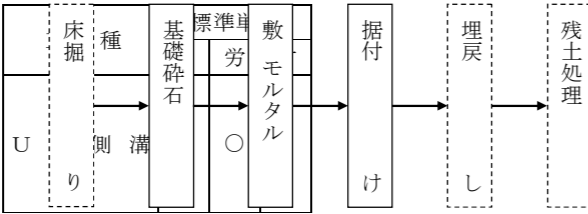
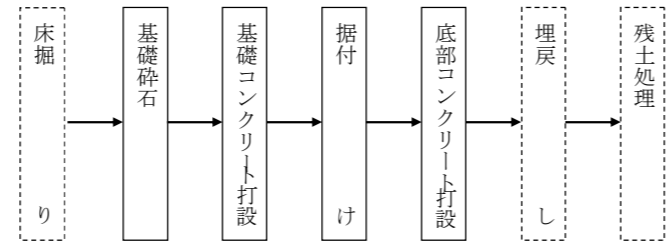
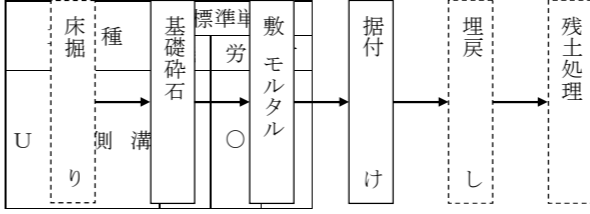
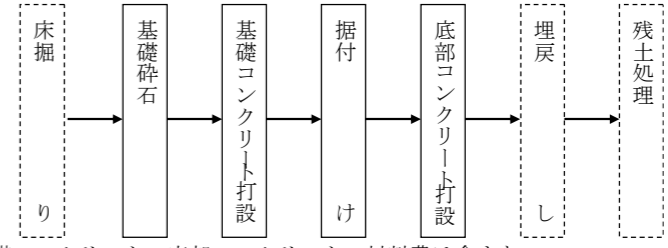
令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新
<p>IV-7-①-4 2-8 溶接材料及び副資材費 (2)副資材費</p>	<p>2-8 溶接材料及び副資材費 (1) 溶接材料費 標準的な寸法・構造諸元の橋梁の場合、溶接材料の質量をあげて計上せず、副資材費に含めて積算してよい。 (2) 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当り溶接材料込みで17,300円/㌧とする。 (注)1. 钣桁以外の加工鋼重は、大型材片質量及び小型材片質量の合計となる。 2. 単純钣桁及び連続钣桁の場合の加工鋼重は、大型材片質量・小型材片質量及び対斜傾構・横構の加工鋼重の合計となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の構形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁,ゲルバー桁)</p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス, ローゼの吊材の穴</p>  </div> </div> <p>3. 鋼橋製作費 3-1 製作工数 (1) 橋梁の製作工数は次式により算出するのを原則とする。 1) 全体製作工数(Y) $Y = \{(Y_1 + Y_2) \times K + Y_3 + Y_4\} \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) \times (1 + \gamma) \times (1 + \delta) + Y_5$ Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅: 各工数要素 α: 重連による補正率(表3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正(表3.9又は表3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい補正率を採用する。 γ: 桁高変化による補正率(表3.11) δ: 平均支間長による工数の補正率(表3.12) K: 570材相当品による影響割増 (注) 製作工数は小数以下2位止め(3位四捨五入)とする。 なお、各工数要素(Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅)についても同様の扱いとする。 2) 本体の加工組立工数(Y₁) $Y_1 = A_1 \times a_1 \times K_1 + A_2 \times a_2 \times K_2$ A₁: 大型材片数 A₂: 小型材片数 a₁: 大型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) a₂: 小型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) K₁: 大型1材片当りの重量による影響係数(表3.2)</p>	<p>2-8 溶接材料及び副資材費 (1) 溶接材料費 標準的な寸法・構造諸元の橋梁の場合、溶接材料の質量をあげて計上せず、副資材費に含めて積算してよい。 (2) 副資材費 副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当り溶接材料込みで18,200円/㌧とする。 (注)1. 钣桁以外の加工鋼重は、大型材片質量及び小型材片質量の合計となる。 2. 単純钣桁及び連続钣桁の場合の加工鋼重は、大型材片質量・小型材片質量及び対斜傾構・横構の加工鋼重の合計となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>ネットで計算するもの</p> <p>①台形部材 ②全長にわたってテーパのついた部材</p>  <p>③伸縮継手の構形部</p>  <p>④ラーメン形又はフレーム形の対傾構の穴</p>  <p>⑤桁高の変化するもの(連続桁,ゲルバー桁)</p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>グロスで計算するもの</p> <p>①ガセットプレート</p>  <p>②板厚変化のテーパ(Web, Flange等)</p>  <p>③板幅変化のテーパ</p>  <p>④スチフナーの切欠</p>  <p>⑤トラス, ローゼの吊材の穴</p>  </div> </div> <p>3. 鋼橋製作費 3-1 製作工数 (1) 橋梁の製作工数は次式により算出するのを原則とする。 1) 全体製作工数(Y) $Y = \{(Y_1 + Y_2) \times K + Y_3 + Y_4\} \times (1 + \alpha) \times (1 + \beta) \times (1 + \gamma) \times (1 + \delta) + Y_5$ Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅: 各工数要素 α: 重連による補正率(表3.8) β: 斜橋又は曲線橋による補正(表3.9又は表3.10) ただし、斜橋と曲線橋の補正の重加算は行わず、いずれか大きい補正率を採用する。 γ: 桁高変化による補正率(表3.11) δ: 平均支間長による工数の補正率(表3.12) K: 570材相当品による影響割増 (注) 製作工数は小数以下2位止め(3位四捨五入)とする。 なお、各工数要素(Y₁, Y₂, Y₃, Y₄, Y₅)についても同様の扱いとする。 2) 本体の加工組立工数(Y₁) $Y_1 = A_1 \times a_1 \times K_1 + A_2 \times a_2 \times K_2$ A₁: 大型材片数 A₂: 小型材片数 a₁: 大型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) a₂: 小型1材片当りの橋梁形式による標準工数(表3.1) K₁: 大型1材片当りの重量による影響係数(表3.2)</p>

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
VI-1-①-5 区画線工	4. 参考資料 表4. 1 区画線工で使用する一般的な材料仕様 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様(同等以上)</th> <th>種 別</th> <th>施工方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS K 5665 1種 A</td> <td>トラフィックペイント常温型</td> <td>ペイント式水性型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 1種 B</td> <td></td> <td>ペイント式溶剤型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 2種 A</td> <td>トラフィックペイント加熱型</td> <td>ペイント式水性型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 2種 B</td> <td></td> <td>ペイント式溶剤型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 3種</td> <td>トラフィックペイント溶融型</td> <td>溶融式</td> </tr> <tr> <td>JIS R 3301</td> <td>ガラスビーズ</td> <td>各方式に合わせて使用</td> </tr> <tr> <td>区画線用</td> <td>プライマー</td> <td>溶融式</td> </tr> </tbody> </table> 表4. 2 溶融式(手動)の標準的な材料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">実線</th> <th colspan="4">破線</th> <th colspan="4">ゼブラ</th> <th rowspan="2">矢印・記号・文字</th> </tr> <tr> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗料</td> <td></td> <td>kg</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装に施工する場合</td> <td>kg</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td></td> <td>kg</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td></td> <td>kg</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油</td> <td></td> <td>L</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>71</td> <td>80</td> <td>49</td> <td>54</td> <td>80</td> <td>88</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>84</td> <td>98</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装に施工する場合</td> <td>L</td> <td>46</td> <td>50</td> <td>74</td> <td>84</td> <td>51</td> <td>56</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>54</td> <td>60</td> <td>89</td> <td>103</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>40</td> <td>43</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>44</td> <td>49</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>47</td> <td>52</td> <td>77</td> <td>89</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装で未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>68</td> <td>77</td> <td>47</td> <td>52</td> <td>77</td> <td>84</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>81</td> <td>94</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> <p>※塗布厚1.5mmの場合の使用量であり、()内は塗布厚1.0mmの場合の使用量である。 ※使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。 ※プロパンガス等の費用は主材料(塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料)の5%を計上する。</p> 表4. 3 ペイント式(車載式)の標準的な材料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">実線</th> <th colspan="3">破線</th> </tr> <tr> <th>15cm</th> <th>15cm</th> <th>30cm</th> <th>15cm</th> <th>15cm</th> <th>30cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗料</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td>L</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>140</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温式で施工する場合</td> <td>L</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガラスビーズ</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td>kg</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>118</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温式で施工する場合</td> <td>kg</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>78</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽油</td> <td></td> <td>L</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>51</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>27</td> <td>32</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 ※プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料(塗料、ガラスビーズ、燃料)の3%を計上する。</p> 表4. 4 区画線消去(削取り式)の燃料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>15cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>L</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>	規格・仕様(同等以上)	種 別	施工方式	JIS K 5665 1種 A	トラフィックペイント常温型	ペイント式水性型	JIS K 5665 1種 B		ペイント式溶剤型	JIS K 5665 2種 A	トラフィックペイント加熱型	ペイント式水性型	JIS K 5665 2種 B		ペイント式溶剤型	JIS K 5665 3種	トラフィックペイント溶融型	溶融式	JIS R 3301	ガラスビーズ	各方式に合わせて使用	区画線用	プライマー	溶融式	名称	区分	単位	実線				破線				ゼブラ				矢印・記号・文字	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm換算	塗料		kg	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	排水性舗装に施工する場合	kg	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	ガラスビーズ		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25	プライマー		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25	軽油		L	44	48	71	80	49	54	80	88	52	57	84	98	110	排水性舗装に施工する場合	L	46	50	74	84	51	56	84	93	54	60	89	103	116	未供用区間に施工する場合	L	40	43	65	73	44	49	73	80	47	52	77	89	100	排水性舗装で未供用区間に施工する場合	L	42	46	68	77	47	52	77	84	50	55	81	94	105	名称	区分	単位	実線			破線			15cm	15cm	30cm	15cm	15cm	30cm	塗料	加熱式で施工する場合	L	70	70	140				常温式で施工する場合	L	50	50	100				ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	118				常温式で施工する場合	kg	39	39	78				軽油		L	34	41	51				未供用区間に施工する場合	L	27	32	40				名称	単位	15cm換算	軽油	L	67	ガソリン	L	37	4. 参考資料 表4. 1 区画線工で使用する一般的な材料仕様 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様(同等以上)</th> <th>種 別</th> <th>施工方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS K 5665 1種 A</td> <td>トラフィックペイント常温型</td> <td>ペイント式水性型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 1種 B</td> <td></td> <td>ペイント式溶剤型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 2種 A</td> <td>トラフィックペイント加熱型</td> <td>ペイント式水性型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 2種 B</td> <td></td> <td>ペイント式溶剤型</td> </tr> <tr> <td>JIS K 5665 3種</td> <td>トラフィックペイント溶融型</td> <td>溶融式</td> </tr> <tr> <td>JIS R 3301</td> <td>ガラスビーズ</td> <td>各方式に合わせて使用</td> </tr> <tr> <td>区画線用</td> <td>プライマー</td> <td>溶融式</td> </tr> </tbody> </table> 表4. 2 溶融式(手動)の標準的な材料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">実線</th> <th colspan="4">破線</th> <th colspan="4">ゼブラ</th> <th rowspan="2">矢印・記号・文字</th> </tr> <tr> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm</th> <th>20cm</th> <th>30cm</th> <th>45cm</th> <th>15cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗料</td> <td></td> <td>kg</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> <td>760 (520)</td> <td>1130 (780)</td> <td>1700 (1170)</td> <td>570 (390)</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装に施工する場合</td> <td>kg</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> <td>1140 (780)</td> <td>1695 (1170)</td> <td>2550 (1755)</td> <td>855 (585)</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td></td> <td>kg</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>プライマー</td> <td></td> <td>kg</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油</td> <td></td> <td>L</td> <td>40</td> <td>43</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>44</td> <td>49</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>47</td> <td>52</td> <td>77</td> <td>89</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装に施工する場合</td> <td>L</td> <td>42</td> <td>46</td> <td>68</td> <td>77</td> <td>47</td> <td>52</td> <td>77</td> <td>84</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>81</td> <td>94</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>59</td> <td>66</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>66</td> <td>73</td> <td>43</td> <td>47</td> <td>70</td> <td>81</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>排水性舗装で未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>70</td> <td>42</td> <td>47</td> <td>70</td> <td>77</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>74</td> <td>85</td> <td>96</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 塗布厚1.5mmの場合の使用量であり、()内は塗布厚1.0mmの場合の使用量である。 2. 使用材料の塗料、ガラスビーズ、プライマーはロス分を含む数量である。 3. プロパンガス等の費用は主材料(塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料)の5%を計上する。</p> 表4. 3 ペイント式(車載式)の標準的な材料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">実線</th> <th colspan="3">破線</th> </tr> <tr> <th>15cm</th> <th>15cm</th> <th>30cm</th> <th>15cm</th> <th>15cm</th> <th>30cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">塗料</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td>L</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>140</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温式で施工する場合</td> <td>L</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガラスビーズ</td> <td>加熱式で施工する場合</td> <td>kg</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>118</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温式で施工する場合</td> <td>kg</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>78</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽油</td> <td></td> <td>L</td> <td>33</td> <td>40</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>未供用区間に施工する場合</td> <td>L</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>39</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 2. プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料(塗料、ガラスビーズ、燃料)の3%を計上する。</p> 表4. 4 区画線消去(削取り式)の燃料使用量 (1,000m当たり) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>15cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>L</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	規格・仕様(同等以上)	種 別	施工方式	JIS K 5665 1種 A	トラフィックペイント常温型	ペイント式水性型	JIS K 5665 1種 B		ペイント式溶剤型	JIS K 5665 2種 A	トラフィックペイント加熱型	ペイント式水性型	JIS K 5665 2種 B		ペイント式溶剤型	JIS K 5665 3種	トラフィックペイント溶融型	溶融式	JIS R 3301	ガラスビーズ	各方式に合わせて使用	区画線用	プライマー	溶融式	名称	区分	単位	実線				破線				ゼブラ				矢印・記号・文字	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm換算	塗料		kg	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	排水性舗装に施工する場合	kg	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	ガラスビーズ		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25	プライマー		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25	軽油		L	40	43	65	73	44	49	73	80	47	52	77	89	100	排水性舗装に施工する場合	L	42	46	68	77	47	52	77	84	50	55	81	94	105	未供用区間に施工する場合	L	38	39	59	66	40	44	66	73	43	47	70	81	91	排水性舗装で未供用区間に施工する場合	L	38	42	62	70	42	47	70	77	45	50	74	85	96	名称	区分	単位	実線			破線			15cm	15cm	30cm	15cm	15cm	30cm	塗料	加熱式で施工する場合	L	70	70	140				常温式で施工する場合	L	50	50	100				ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	118				常温式で施工する場合	kg	39	39	78				軽油		L	33	40	50				未供用区間に施工する場合	L	26	31	39				名称	単位	15cm換算	軽油	L	62	ガソリン	L	35
規格・仕様(同等以上)	種 別	施工方式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 1種 A	トラフィックペイント常温型	ペイント式水性型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 1種 B		ペイント式溶剤型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 2種 A	トラフィックペイント加熱型	ペイント式水性型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 2種 B		ペイント式溶剤型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 3種	トラフィックペイント溶融型	溶融式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS R 3301	ガラスビーズ	各方式に合わせて使用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区画線用	プライマー	溶融式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
名称	区分	単位	実線				破線				ゼブラ				矢印・記号・文字																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm		15cm換算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
塗料		kg	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装に施工する場合	kg	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガラスビーズ		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
プライマー		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
軽油		L	44	48	71	80	49	54	80	88	52	57	84	98	110																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装に施工する場合	L	46	50	74	84	51	56	84	93	54	60	89	103	116																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	未供用区間に施工する場合	L	40	43	65	73	44	49	73	80	47	52	77	89	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装で未供用区間に施工する場合	L	42	46	68	77	47	52	77	84	50	55	81	94	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
名称	区分	単位	実線			破線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			15cm	15cm	30cm	15cm	15cm	30cm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
塗料	加熱式で施工する場合	L	70	70	140																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	常温式で施工する場合	L	50	50	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	118																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	常温式で施工する場合	kg	39	39	78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
軽油		L	34	41	51																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	未供用区間に施工する場合	L	27	32	40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
名称	単位	15cm換算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
軽油	L	67																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ガソリン	L	37																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
規格・仕様(同等以上)	種 別	施工方式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 1種 A	トラフィックペイント常温型	ペイント式水性型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 1種 B		ペイント式溶剤型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 2種 A	トラフィックペイント加熱型	ペイント式水性型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 2種 B		ペイント式溶剤型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS K 5665 3種	トラフィックペイント溶融型	溶融式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
JIS R 3301	ガラスビーズ	各方式に合わせて使用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区画線用	プライマー	溶融式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
名称	区分	単位	実線				破線				ゼブラ				矢印・記号・文字																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm	15cm	20cm	30cm	45cm		15cm換算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
塗料		kg	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)	760 (520)	1130 (780)	1700 (1170)	570 (390)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装に施工する場合	kg	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)	1140 (780)	1695 (1170)	2550 (1755)	855 (585)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ガラスビーズ		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
プライマー		kg	25	33	50	75	25	33	50	75	25	33	50	75	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
軽油		L	40	43	65	73	44	49	73	80	47	52	77	89	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装に施工する場合	L	42	46	68	77	47	52	77	84	50	55	81	94	105																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	未供用区間に施工する場合	L	38	39	59	66	40	44	66	73	43	47	70	81	91																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	排水性舗装で未供用区間に施工する場合	L	38	42	62	70	42	47	70	77	45	50	74	85	96																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
名称	区分	単位	実線			破線																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			15cm	15cm	30cm	15cm	15cm	30cm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
塗料	加熱式で施工する場合	L	70	70	140																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	常温式で施工する場合	L	50	50	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ガラスビーズ	加熱式で施工する場合	kg	59	59	118																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	常温式で施工する場合	kg	39	39	78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
軽油		L	33	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	未供用区間に施工する場合	L	26	31	39																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
名称	単位	15cm換算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
軽油	L	62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
ガソリン	L	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

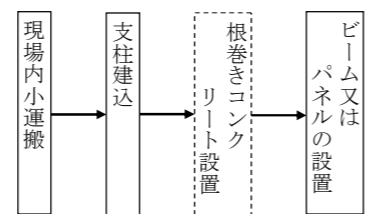
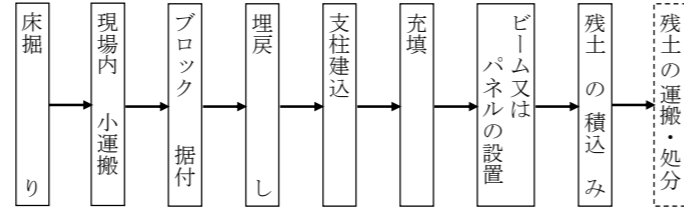
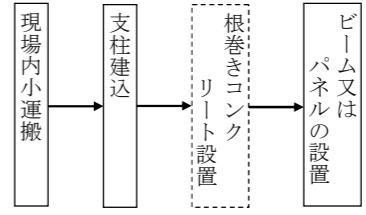
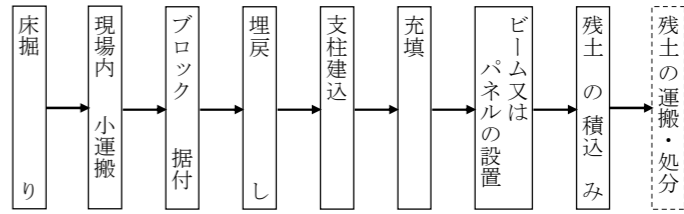
令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																						
VI-1-⑥-1 排水構造物工	⑥ 排水構造物工 1. 適用範囲 1-1 標準単価が適用出来る範囲 (1) 排水構造物工のうちプレキャスト製品によるU型（落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む）側溝、自由勾配側溝及び蓋版の設置、再利用撤去工事に適用。 1-2 標準単価が適用出来ない範囲 (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの 1) 再利用を目的としない側溝本体及び蓋版本体の撤去工事。 2) 地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事。 (2) 特別調査等別途考慮するもの 1) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 2) その他、規格・仕様等が適合しない場合。 2. 標準単価の設定 2-1 標準単価の構成と範囲 標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。  <p style="font-size: small;">(注) 1. 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 2. 敷モルタルの材料費（材料ロス含む）は含む。 3. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、U型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 4. 基面整正は含まない。</p> <table border="1" style="font-size: x-small; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由勾配側溝</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 側溝本体、基礎碎石、基礎コンクリート、底部コンクリートの材料費は含まない。 2. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、自由勾配側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 3. 基面整正は含まない。 4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。 なお、必要な場合は別途計上する。</p>	工種	標準単価			機	労	材	自由勾配側溝	○	○	×	⑥ 排水構造物工 1. 適用範囲 1-1 標準単価が適用出来る範囲 (1) 排水構造物工のうちプレキャスト製品によるU型（落蓋型、鉄筋コンクリートベンチフリュームを含む）側溝、自由勾配側溝及び蓋版の設置、再利用撤去工事に適用。 1-2 標準単価が適用出来ない範囲 (1) 土木工事標準積算基準書等により別途積算するもの 1) 再利用を目的としない側溝本体及び蓋版本体の撤去工事。 2) 地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設における側溝の設置工事。 (2) 特別調査等別途考慮するもの 1) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 2) その他、規格・仕様等が適合しない場合。 2. 標準単価の設定 2-1 標準単価の構成と範囲 標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。  <p style="font-size: small;">(注) 1. 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 2. 敷モルタルの材料費（材料ロス含む）は含む。 3. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、U型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 4. 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。 5. 基面整正は含まない。</p> <table border="1" style="font-size: x-small; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由勾配側溝</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="font-size: x-small;">(注) 1. 側溝本体、基礎碎石、基礎コンクリート、底部コンクリートの材料費は含まない。 2. 据付けに必要なクレーン及びカッタブレード、コンクリートカッタ、目地モルタル、自由勾配側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 3. 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。 4. 基面整正は含まない。 5. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。 なお、必要な場合は別途計上する。</p>	工種	標準単価			機	労	材	自由勾配側溝	○	○	×
工種	標準単価																							
	機	労	材																					
自由勾配側溝	○	○	×																					
工種	標準単価																							
	機	労	材																					
自由勾配側溝	○	○	×																					

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																																		
VI-1-⑥-3 排水構造物工	<p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 L=1,000mmを使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000mmを使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=5,000mmを使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₄</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₅</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₆</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₇</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th>U型側溝</th> <th>自由勾配側溝</th> <th>蓋版</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 L=1,000mmを使用する場合</td> <td>K₁</td> <td>1.17</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>L=4,000mmを使用する場合</td> <td>K₂</td> <td>0.93</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>K₃</td> <td>1.21</td> <td>—</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>K₄</td> <td>1.38</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>K₅</td> <td>0.87</td> <td>0.87</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>K₇</td> <td>0.51</td> <td>—</td> <td>0.62</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. L=1,000mmを使用する場合の補正係数(K₁)、L=4,000mmを使用する場合の補正係数(K₂)及びL=5,000mmを使用する場合の補正係数(K₃)が補正の対象としているのはU型L=2,000mmであり、各々の個当り質量を2mに換算し、適合する規格・仕様の単価を係数で補正する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 [設置] 直接工事費=(設計単価(注1)×設計数量)+材料費(注2又は注3) (注1) 設計単価=標準単価×(K₁×K₂×……×K_n) (注2) 材料費=側溝材料単価×設計数量+基礎碎石材料単価×設計数量×1.20(ロス分)+コンクリート材料単価×設計数量×1.06(ロス分) (注3) 材料費=蓋版材料単価×設計数量</p>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	補正係数 L=1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	L=5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量	法面小段面	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量	区分	記号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋版	補正係数 L=1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—	L=4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—	法面小段面	K ₃	1.21	—	1.00	法面縦排水	K ₄	1.38	—	—	基礎碎石を施工しない場合	K ₅	0.87	0.87	—	再利用撤去	K ₇	0.51	—	0.62	<p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 L=1,000mmを使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000mmを使用する場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₄</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₅</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₆</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th>U型側溝</th> <th>自由勾配側溝</th> <th>蓋版</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 L=1,000mmを使用する場合</td> <td>K₁</td> <td>1.17</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>L=4,000mmを使用する場合</td> <td>K₂</td> <td>0.93</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>K₃</td> <td>1.21</td> <td>—</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>K₄</td> <td>1.38</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>K₅</td> <td>0.87</td> <td>0.87</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>K₆</td> <td>0.51</td> <td>—</td> <td>0.62</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. L=1,000mmを使用する場合の補正係数(K₁)、L=4,000mmを使用する場合の補正係数(K₂)が補正の対象としているのはU型L=2,000mmであり、各々の個当り質量を2mに換算し、適合する規格・仕様の単価を係数で補正する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 [設置] 直接工事費=(設計単価(注1)×設計数量)+材料費(注2又は注3) (注1) 設計単価=標準単価×(K₁×K₂×……×K_n) (注2) 材料費=側溝材料単価×設計数量+基礎碎石材料単価×設計数量×1.20(ロス分)+コンクリート材料単価×設計数量×1.06(ロス分) (注3) 材料費=蓋版材料単価×設計数量</p>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	補正係数 L=1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	法面小段面	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量	区分	記号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋版	補正係数 L=1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—	L=4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—	法面小段面	K ₃	1.21	—	1.00	法面縦排水	K ₄	1.38	—	—	基礎碎石を施工しない場合	K ₅	0.87	0.87	—	再利用撤去	K ₆	0.51	—	0.62
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																	
補正係数 L=1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																																	
L=4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																																																																	
L=5,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が5,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量																																																																																																																																	
法面小段面	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量																																																																																																																																	
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量																																																																																																																																	
基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量																																																																																																																																	
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₇	対象数量																																																																																																																																	
区分	記号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋版																																																																																																																																
補正係数 L=1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—																																																																																																																																
L=4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—																																																																																																																																
法面小段面	K ₃	1.21	—	1.00																																																																																																																																
法面縦排水	K ₄	1.38	—	—																																																																																																																																
基礎碎石を施工しない場合	K ₅	0.87	0.87	—																																																																																																																																
再利用撤去	K ₇	0.51	—	0.62																																																																																																																																
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																																	
補正係数 L=1,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が1,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																																	
L=4,000mmを使用する場合	使用する側溝本体の長さ(L)が4,000mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																																																																	
法面小段面	法面小段面における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	対象数量																																																																																																																																	
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	対象数量																																																																																																																																	
基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	対象数量																																																																																																																																	
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₆	対象数量																																																																																																																																	
区分	記号	U型側溝	自由勾配側溝	蓋版																																																																																																																																
補正係数 L=1,000mmを使用する場合	K ₁	1.17	—	—																																																																																																																																
L=4,000mmを使用する場合	K ₂	0.93	—	—																																																																																																																																
法面小段面	K ₃	1.21	—	1.00																																																																																																																																
法面縦排水	K ₄	1.38	—	—																																																																																																																																
基礎碎石を施工しない場合	K ₅	0.87	0.87	—																																																																																																																																
再利用撤去	K ₆	0.51	—	0.62																																																																																																																																

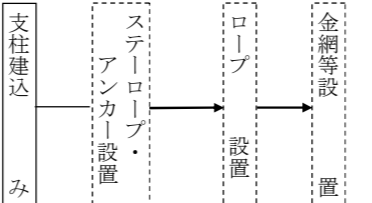
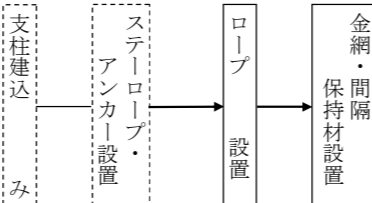
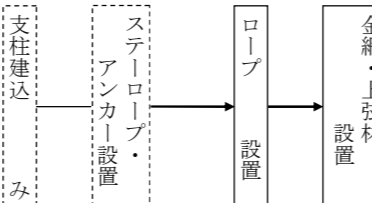
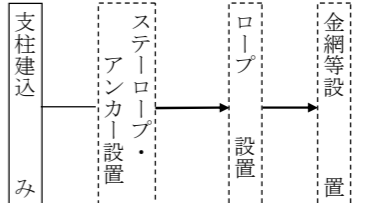
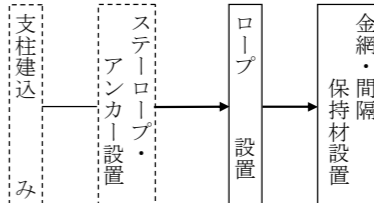
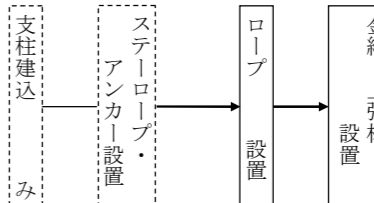
令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																												
VI-2-③-13 防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	<div style="text-align: center;"> ③-3 防護柵設置工 (横断・転落防止柵) </div> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高70cm以上125cm以下の防護柵設置工(横断・転落防止柵)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新設・更新, 撤去工事。 (2) 部材設置, 部材撤去工事。 <p>1-2 市場単価が適用出来ない範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 見積等により別途積算するもの。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 事故後の復旧工事(撤去)。 (2) 特別調査等別途考慮するもの。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 防護柵(P種)[横断・転落防止柵]以外の製品の場合。 2) 高さが125cm超の場合。 3) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 4) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 5) 勾配2割未満(1:2.0未満)の階段部、法面に設置する場合。 6) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 7) その他, 規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。 <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>土中建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(労務費・材料費)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。 2. 根巻きコンクリート設置は、必要に応じて計上すること。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>プレキャストコンクリートブロック建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。ただし、プレキャストコンクリートブロック材料費及び充填材(労務費・材料費)を含む。 2. プレキャストコンクリートブロックは、100kg未満に適用する。</p>	工種	市場単価			機	労	材	土中建込	○	○	×	工種	市場単価			機	労	材	プレキャストコンクリートブロック建込	○	○	×	<div style="text-align: center;"> ③-3 防護柵設置工 (横断・転落防止柵) </div> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高70cm以上125cm以下の防護柵設置工(横断・転落防止柵)に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 新設・更新, 撤去工事。 (2) 部材設置, 部材撤去工事。 <p>1-2 市場単価が適用出来ない範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 見積等により別途積算するもの。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 事故後の復旧工事(撤去)。 (2) 特別調査等別途考慮するもの。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 防護柵(P種)[横断・転落防止柵]以外の製品の場合。 2) 高さが125cm超の場合。 3) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。 4) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。 5) 勾配2割未満(1:2.0未満)の階段部、法面に設置する場合。 6) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 7) 生活道路用柵の場合。 8) その他, 規格・仕様等が適合せず市場単価が適用出来ない場合。 <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <p>① 防護柵(横断・転落防止柵)設置</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>土中建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 土中建込には、床掘り・埋戻し及び穴あけ後の充填材(労務費・材料費)が必要な場合の作業を含む。ただし、支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。 2. 根巻きコンクリート設置は、必要に応じて計上すること。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>プレキャストコンクリートブロック建込</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 支柱建込箇所が岩盤、舗装版などの場合の穴あけ費用・復旧費用は含まない。ただし、プレキャストコンクリートブロック材料費及び充填材(労務費・材料費)を含む。 2. プレキャストコンクリートブロックは、100kg未満に適用する。</p>	工種	市場単価			機	労	材	土中建込	○	○	×	工種	市場単価			機	労	材	プレキャストコンクリートブロック建込	○	○	×
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
土中建込	○	○	×																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
プレキャストコンクリートブロック建込	○	○	×																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
土中建込	○	○	×																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
プレキャストコンクリートブロック建込	○	○	×																																											

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																																																																																																																												
VI-2-③-16 防護柵設置工 (横断・転落防止柵)	<p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.6 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="3">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S₂</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="5">対象数量</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₄</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₅</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.7 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">撤去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>プレキャストコンクリートブロック建込 コンクリート建込 アンカーボルト固定</th> <th></th> <th>ビーム 又は パネルのみ 設置</th> <th>ビーム 又は パネルのみ 撤去</th> <th>根巻き コンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td>100m未満 35% (25%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td>1.35 (1.25)</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td>1.50 (1.35)</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 加算率・補正係数の () 内の係数は、プレキャストコンクリートブロック建込及びアンカーボルト固定に適用する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数値 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂×K₃ or K₄ or K₅)+材料費</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁		S ₂	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	支柱間隔 1m	支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	支柱間隔 1.5m	支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	支柱間隔 2m	支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	区分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			撤去	部材設置・撤去			土中建込	プレキャストコンクリートブロック建込 コンクリート建込 アンカーボルト固定		ビーム 又は パネルのみ 設置	ビーム 又は パネルのみ 撤去	根巻き コンクリート 設置	加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35% (25%)	—	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35 (1.25)	1.35	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	1.50 (1.35)	1.50	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—	<p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.6 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="3">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S₂</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="5">対象数量</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₃</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₄</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₅</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.7 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">撤去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th>コンクリート建込</th> <th>プレキャストコンクリートブロック建込 アンカーボルト固定</th> <th>ビーム 又は パネルのみ 設置</th> <th>ビーム 又は パネルのみ 撤去</th> <th>根巻き コンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td>100m未満 35%</td> <td>100m未満 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込、プレキャストコンクリートブロック建込、アンカーボルト固定それぞれ1工事の全体数量で判断する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数値 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂×K₃ or K₄ or K₅)+材料費</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁		S ₂	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	支柱間隔 1m	支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃	支柱間隔 1.5m	支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄	支柱間隔 2m	支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅	区分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			撤去	部材設置・撤去			土中建込	コンクリート建込	プレキャストコンクリートブロック建込 アンカーボルト固定	ビーム 又は パネルのみ 設置	ビーム 又は パネルのみ 撤去	根巻き コンクリート 設置	加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35%	100m未満 25%	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35	1.25	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	1.50	1.35	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—
	規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																																																																																																																																									
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																																																																																																																										
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																																																																																																																																																																																											
			S ₂																																																																																																																																																																																																																											
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																																																																																																																										
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 1m	支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 1.5m	支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 2m	支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅																																																																																																																																																																																																																											
区分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			撤去	部材設置・撤去																																																																																																																																																																																																																								
		土中建込	プレキャストコンクリートブロック建込 コンクリート建込 アンカーボルト固定			ビーム 又は パネルのみ 設置	ビーム 又は パネルのみ 撤去	根巻き コンクリート 設置																																																																																																																																																																																																																						
加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
		S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35% (25%)	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
		S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35 (1.25)	1.35	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																																																																																						
	夜間作業	K ₂	1.35	1.50 (1.35)	1.50	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																																																																																																																																										
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																																																																																																																										
		1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																																																																																																																																																																																											
			S ₂																																																																																																																																																																																																																											
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																																																																																																																										
	夜間作業	通常勤務すべき時間(所定労働時間)帯を変更して、作業時間が夜間(20時～6時)にかかる場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 1m	支柱間隔が1mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₃																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 1.5m	支柱間隔が1.5mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₄																																																																																																																																																																																																																											
	支柱間隔 2m	支柱間隔が2mの場合は対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₅																																																																																																																																																																																																																											
区分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			撤去	部材設置・撤去																																																																																																																																																																																																																								
		土中建込	コンクリート建込	プレキャストコンクリートブロック建込 アンカーボルト固定		ビーム 又は パネルのみ 設置	ビーム 又は パネルのみ 撤去	根巻き コンクリート 設置																																																																																																																																																																																																																						
加算率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	100m以上 0%	100m以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
		S ₁	50m以上 100m未満 25%	100m未満 35%	100m未満 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
		S ₂	50m未満 40%	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	1.35	1.25	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																																																																																						
	夜間作業	K ₂	1.35	1.50	1.35	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—																																																																																																																																																																																																																						

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																		
VI-2-③-19 防護柵設置工 (落石防護柵)	<p style="text-align: center;">③-4 防護柵設置工(落石防護柵)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は市場単価方式による、落石防護柵(ストーンガード)設置及び撤去工に適用する。 なお、市場単価の適用工種は、下記のとおりとする。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵(ストーンガード)設置及び撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3m(耐雪型(上弦材付き)は3m、2m)とする。 (2) 落石対策便覧(平成12年度版)に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 特別調査等別途考慮するもの。 1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。 2) 耐雪型のロープ・金網設置工(上弦材なし)の場合。 3) 耐雪型のロープ・金網設置工(上弦材付き)で柵高が3mを超える場合。 4) 落雪(せり出し)防護柵の場合。 5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。 6) 高エネルギー吸収柵の場合。 7) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 8) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 (2) 落石対策便覧(平成29年度版)に対応した製品を採用する場合。</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>支柱設置工 (中間及び端末)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。 2. 索端金具・Uボルトの材料費及び設置費を含む。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。 2. 間隔保持材が必要ない場合は補正係数にて補正すること。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> 	工種	市場単価			機	労	材	支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○	<p style="text-align: center;">③-4 防護柵設置工(落石防護柵)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は市場単価方式による、落石防護柵(ストーンガード)設置及び撤去工に適用する。 なお、市場単価の適用工種は、下記のとおりとする。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵(ストーンガード)設置及び撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3m(耐雪型(上弦材付き)は3m、2m)とする。 (2) 落石対策便覧(平成29年度版)に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 特別調査等別途考慮するもの。 1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。 2) 耐雪型のロープ・金網設置工(上弦材なし)の場合。 3) 耐雪型のロープ・金網設置工(上弦材付き)で柵高が3mを超える場合。 4) 落雪(せり出し)防護柵の場合。 5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。 6) 高エネルギー吸収柵の場合。 7) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 8) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 (2) 落石対策便覧(平成12年度版)に対応した製品を採用する場合。</p> <p>2. 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>支柱設置工 (中間及び端末)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。 2. 索端金具・Uボルトの材料費及び設置費を含む。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>  <p>(注) 1. 材料の現場内小運搬・持ち上げを含む。 2. 間隔保持材が必要ない場合は補正係数にて補正すること。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> 	工種	市場単価			機	労	材	支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○																																																																	
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○																																																																	
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○																																																																	
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
支柱設置工 (中間及び端末)	○	○	○																																																																	
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○																																																																	
工種	市場単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
ロープ・金網設置工 (間隔保持材付き)	○	○	○																																																																	

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																				
VI-2-③-25 防護柵設置工 (落石防止網)	③-5 防護柵設置工 (落石防止網) 1. 適用範囲 <p>本資料は、市場単価方式による落石防止網(ロックネット)設置工に適用する。</p> 1-1 市場単価が適用できる範囲 <ul style="list-style-type: none"> (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工及びポケット式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事。 (2) 支柱の表面仕様が工場メッキ仕上げ、または現場塗装仕上げ(メッキなし)の場合。 1-2 市場単価が適用できない範囲 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別調査等別途考慮するもの。 <ul style="list-style-type: none"> 1) ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 2) ポケット式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工のうち、支柱が埋め込み式及びミニポケット式(支柱据置式)による場合。 3) アンカー及び支柱の設置がコンクリートの基礎による場合。 4) 支柱の表面仕様がメッキの上に塗装仕上げする場合。 5) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 6) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 7) 落石防止網(繊維網)設置工。 2. 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>金網・ロープ設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。 2. 金網の重ね、端部切断等のロス、クロスクリップ・結合コイル等の必要部材の材料費及び設置費を含む。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>アンカー設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。 2. 削孔、アンカー打込み及び充填材注入等の一連作業を含む。 3. アンカー設置時に発生する残土処理(処分費)は含まない。</p>	工種	市場単価			機	労	材	機	労	材	金網・ロープ設置	○	○	○	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	機	労	材	アンカー設置	○	○	○	○	○	○	③-5 防護柵設置工 (落石防止網) 1. 適用範囲 <p>本資料は、市場単価方式による落石防止網(ロックネット)設置工に適用する。</p> 1-1 市場単価が適用できる範囲 <ul style="list-style-type: none"> (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工及びポケット式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工のうち支柱がアンカー固定式による場合の新設工事。 (2) 支柱の表面仕様が工場メッキ仕上げ、または現場塗装仕上げ(メッキなし)の場合。 (3) 落石対策便覧(平成29年度版)に対応した製品を採用する場合。 1-2 市場単価が適用できない範囲 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別調査等別途考慮するもの。 <ul style="list-style-type: none"> 1) 落石防止網(繊維網)設置工。 2) ロープ伏工及び密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 3) ポケット式の鋼製落石防止網(ロックネット)設置工のうち、支柱が埋め込み式及びミニポケット式(支柱据置式)による場合。 4) アンカー及び支柱の設置がコンクリートの基礎による場合。 5) 支柱の表面仕様がメッキの上に塗装仕上げする場合。 6) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 7) 落石対策便覧(平成12年度版)に対応した製品を採用する場合。 8) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用できない場合。 2. 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 <p>市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>金網・ロープ設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。 2. 金網の重ね、端部切断等のロス、クロスクリップ・結合コイル等の必要部材の材料費及び設置費を含む。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>アンカー設置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。 2. 削孔、アンカー打込み及び充填材注入等の一連作業を含む。 3. アンカー設置時に発生する残土処理(処分費)は含まない。</p>	工種	市場単価			機	労	材	機	労	材	金網・ロープ設置	○	○	○	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	機	労	材	アンカー設置	○	○	○	○	○	○
工種	市場単価			機	労				材																																																													
	機	労	材																																																																			
金網・ロープ設置	○	○	○	○	○	○																																																																
工種	市場単価			機	労	材																																																																
	機	労	材																																																																			
アンカー設置	○	○	○	○	○	○																																																																
工種	市場単価			機	労	材																																																																
	機	労	材																																																																			
金網・ロープ設置	○	○	○	○	○	○																																																																
工種	市場単価			機	労	材																																																																
	機	労	材																																																																			
アンカー設置	○	○	○	○	○	○																																																																

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																								
VI-2-④-5 法面工	<div style="text-align: center;"> 表2.6 主体種子 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 5%;">草本類</td> <td style="width: 10%;">外 来 種</td> <td>トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ</td> </tr> <tr> <td>在 来 種</td> <td>ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ</td> </tr> <tr> <td>木本類</td> <td>在 来 種</td> <td>ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ</td> </tr> </table> <p>(注) 種子は外国産を対象とする。</p> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <div style="text-align: center;"> 表2.7 加算率・補正係数の適用基準 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施 工 規 模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4">全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕</td> <td>K₃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 各工種標準の垂直高は以下のとおりとする。 1) モルタル吹付工、コンクリート吹付工は45m以下。 2) 植生基材吹付工は45m以下。(下記図例を参照) 3) 客土吹付工は25m以下。 4) 種子散布工は30m以下。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>《施工基面から上面への施工の場合》</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>《施工基面から下面への施工の場合》</p> </div> </div>	草本類	外 来 種	トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ	在 来 種	ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ	木本類	在 来 種	ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	S ₂	S ₃	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	K ₃	<div style="text-align: center;"> 表2.6 主体種子 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 5%;">草本類</td> <td style="width: 10%;">外 来 種</td> <td>トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ</td> </tr> <tr> <td>在 来 種</td> <td>ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ</td> </tr> <tr> <td>木本類</td> <td>在 来 種</td> <td>ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ</td> </tr> </table> <p>(注) 種子は外国産を対象とする。</p> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <div style="text-align: center;"> 表2.7 加算率・補正係数の適用基準 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施 工 規 模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4">全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕</td> <td>K₃</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 各工種標準の垂直高は以下のとおりとする。 1) モルタル吹付工、コンクリート吹付工は45m以下。 2) 植生基材吹付工は45m以下。(下記図例を参照) 3) 客土吹付工は25m以下。 4) 種子散布工は30m以下。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>《施工基面から上面への施工の場合》</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>《施工基面から下面への施工の場合》</p> </div> </div>	草本類	外 来 種	トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ	在 来 種	ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ	木本類	在 来 種	ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁	S ₂	S ₃	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	K ₃
草本類	外 来 種		トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ																																																							
	在 来 種	ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ																																																								
木本類	在 来 種	ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ																																																								
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																							
加算率 施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量																																																							
	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																								
		S ₂																																																								
		S ₃																																																								
補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																							
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂																																																								
	枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	K ₃																																																								
草本類	外 来 種	トールフェスタ クリーピングレッドフェスタ オーチャードグラス ケンタッキーブルーグラス チモシー パミューダグラス バビアグラス ホワイトクローバー ペレニアルライグラス イタリアンライグラス ベントグラス レッドトップ																																																								
	在 来 種	ヨモギ ススキ イタドリ メドハギ																																																								
木本類	在 来 種	ヤマハギ(皮取り) ヤマハギ(皮付き) コマツナギ																																																								
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																							
加算率 施 工 規 模	標準	S ₀	全体数量																																																							
	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁																																																								
		S ₂																																																								
		S ₃																																																								
補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																							
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂																																																								
	枠内吹付の場合 〔モルタル吹付工 コンクリート吹付工 植生基材吹付工〕	K ₃																																																								

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																										
VI-2-④-6 法面工	(2) 加算率・補正係数の数値 <div style="text-align: center;"> 表2.8 加算率・補正係数の数値 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">モルタル吹付工</th> <th rowspan="2">コンクリート吹付工</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">加算率</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 10%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 10%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 20%</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>(250 m²未満) 30%</td> <td>(250 m²未満) 30%</td> <td>(250 m²未満) 20%</td> <td>(250 m²未満) 20%</td> <td>(250 m²未満) 40%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 施工規模加算率 (S₁), (S₂) 又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。 3. モルタル吹付工, コンクリート吹付工, 植生基材吹付工における K₁, K₂ については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。 4. 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付けに限り、施工規模は合計施工数量で判定する。 5. 種子散布工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 6. 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃, ラス金網設置を含まない場合に補正する。</p>	区分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 10%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 10%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	S ₃	(250 m ² 未満) 30%	(250 m ² 未満) 30%	(250 m ² 未満) 20%	(250 m ² 未満) 20%	(250 m ² 未満) 40%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10	法面垂直高45mを超え80m以下の場合	K ₂	—	—	1.10	—	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—	(2) 加算率・補正係数の数値 <div style="text-align: center;"> 表2.8 加算率・補正係数の数値 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th rowspan="2">モルタル吹付工</th> <th rowspan="2">コンクリート吹付工</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">加算率</td> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 15%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 25%</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>(100 m²以上 250 m²未満) 35%</td> <td>(100 m²以上 250 m²未満) 35%</td> <td>(100 m²以上 250 m²未満) 25%</td> <td>(100 m²以上 250 m²未満) 25%</td> <td>(100 m²以上 250 m²未満) 45%</td> </tr> <tr> <td>S₄</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 60%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 施工規模加算率 (S₁), (S₂), (S₃) 又は (S₄) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。 3. モルタル吹付工, コンクリート吹付工, 植生基材吹付工における K₁, K₂ については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。 4. 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付けに限り、施工規模は合計施工数量で判定する。 5. 種子散布工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 6. 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃, ラス金網設置を含まない場合に補正する。</p>	区分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 15%	S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 25%	S ₃	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 25%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 25%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 45%	S ₄	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 60%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10	法面垂直高45mを超え80m以下の場合	K ₂	—	—	1.10	—	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—
区分	記号					モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工																																																																																																																				
		植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																																																								
加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%																																																																																																																					
		S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%																																																																																																																					
		S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 10%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 10%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%																																																																																																																					
		S ₃	(250 m ² 未満) 30%	(250 m ² 未満) 30%	(250 m ² 未満) 20%	(250 m ² 未満) 20%	(250 m ² 未満) 40%																																																																																																																					
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10																																																																																																																					
	法面垂直高45mを超え80m以下の場合	K ₂	—	—	1.10	—	—																																																																																																																					
	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	0.80	0.80	—	—																																																																																																																					
区分	記号	モルタル吹付工	コンクリート吹付工	機械播種施工による植生工																																																																																																																								
				植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																																																						
加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%																																																																																																																					
		S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 15%																																																																																																																					
		S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 25%																																																																																																																					
		S ₃	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 25%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 25%	(100 m ² 以上 250 m ² 未満) 45%																																																																																																																					
		S ₄	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 60%																																																																																																																					
		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.05	1.05	1.05	1.10																																																																																																																			
法面垂直高45mを超え80m以下の場合	K ₂		—	—	1.10	—	—																																																																																																																					
枠内吹付の場合	K ₃		0.80	0.80	0.80	—	—																																																																																																																					

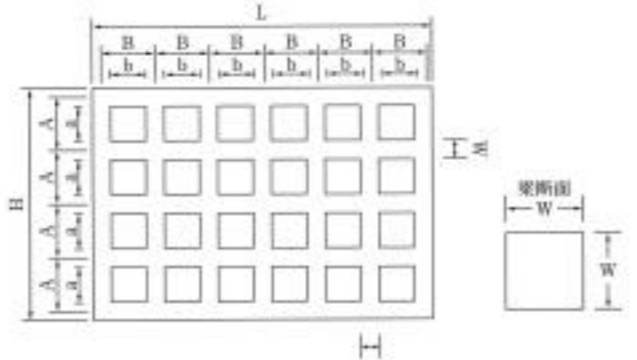
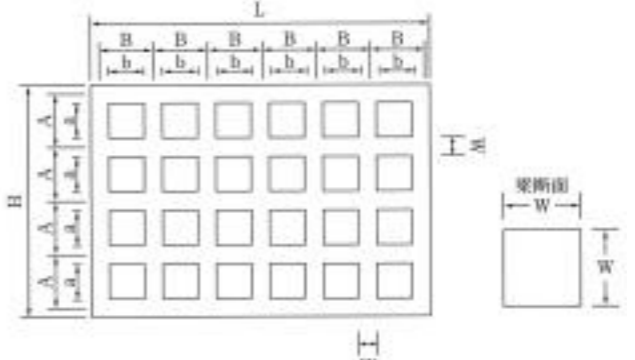
令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																						
VI-2-④-7 法面工	<p style="text-align: center;">表2.9 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 15%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 5%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(500 m²未満) 15%</td> <td>(300 m²未満) 35%</td> <td>(300 m²未満) 35%</td> <td>(300 m²未満) 35%</td> <td>(500 m²未満) 15%</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 1 工事において植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 3. 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数量 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂ or S₃/100)×(K₁×K₂×K₃)</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、下記の点に留意すること。 (1) モルタル吹付工, コンクリート吹付工 1) 法面部への施工を標準とするが、法面に一部平面部(小段等)が含まれる施工にも適用出来る。ただし、平面部のみの施工には適用出来ない。 2) モルタル, コンクリートの強度は、15N/mm² (150kgf/cm²) 程度以上とする。 3) 特殊セメントを除き、普通セメント、高炉セメントの種別にかかわらず適用出来る。 4) 菱形金網は、線形 2.0mm 網目 50mm, アンカーピンは φ 9(D10) × L=200mm・1.5 本/ m², 及び φ 16(D16) × L=400mm・0.3 本/ m² をそれぞれ標準とする。 5) 溶接金網を使用する場合は適用出来ない。 6) ラス張工はスペーサの有無にかかわらず適用出来る。 7) 補強鉄筋が必要な場合は別途計上する。 8) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 9) 目地及び水抜きパイプ等の施工の有無にかかわらず適用出来る。 10) 吸出し防止材が必要な場合は材料費、設置手間を別途計上する。 11) オーバーハングの法面は別途考慮する。 12) 施工規模は、モルタル吹付工, コンクリート吹付工のそれぞれ 1 工事の全体数量で判定する。 (2) 植生基材吹付工 1) 菱形金網は、線形 2.0mm 網目 50mm, アンカーピンは φ 9(D10) × L=200mm・1.5 本/ m², 及び φ 16(D16) × L=400mm・0.3 本/ m² をそれぞれ標準とする。 2) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 3) 施工規模は、植生基材吹付工のみの 1 工事の全体数量で判定する。 4) 植生基材吹付工は、法面部への施工を標準とするが、法面に一部平面部(小段等)が含まれる施工にも適用出来る。ただし、平面部のみの施工には適用出来ない。</p>	区分	記号	人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	S ₂	(500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 未満) 35%	(300 m ² 未満) 35%	(300 m ² 未満) 35%	(500 m ² 未満) 15%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.15	1.05	<p style="text-align: center;">表2.9 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率</td> <td rowspan="4">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(500 m²以上) 0%</td> <td>(1,000 m²以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(300 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(500 m²以上 1,000 m²未満) 10%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 20%</td> <td>(100 m²以上 300 m²未満) 40%</td> <td>(100 m²以上 300 m²未満) 40%</td> <td>(100 m²以上 300 m²未満) 40%</td> <td>(250 m²以上 500 m²未満) 20%</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>(250 m²未満) 35%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(100 m²未満) 50%</td> <td>(250 m²未満) 35%</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁) 又は, (S₂) または (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. 1 工事において植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。 3. 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数量 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂ or S₃ or S₄/100)×(K₁×K₂×K₃)</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、下記の点に留意すること。 (1) モルタル吹付工, コンクリート吹付工 1) 法面部への施工を標準とするが、法面に一部平面部(小段等)が含まれる施工にも適用出来る。ただし、平面部のみの施工には適用出来ない。 2) モルタル, コンクリートの強度は、15N/mm² (150kgf/cm²) 程度以上とする。 3) 特殊セメントを除き、普通セメント、高炉セメントの種別にかかわらず適用出来る。 4) 菱形金網は、線形 2.0mm 網目 50mm, アンカーピンは φ 9(D10) × L=200mm・1.5 本/ m², 及び φ 16(D16) × L=400mm・0.3 本/ m² をそれぞれ標準とする。 5) 溶接金網を使用する場合は適用出来ない。 6) ラス張工はスペーサの有無にかかわらず適用出来る。 7) 補強鉄筋が必要な場合は別途計上する。 8) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 9) 目地及び水抜きパイプ等の施工の有無にかかわらず適用出来る。 10) 吸出し防止材が必要な場合は材料費、設置手間を別途計上する。 11) オーバーハングの法面は別途考慮する。 12) 施工規模は、モルタル吹付工, コンクリート吹付工のそれぞれ 1 工事の全体数量で判定する。 (2) 植生基材吹付工 1) 菱形金網は、線形 2.0mm 網目 50mm, アンカーピンは φ 9(D10) × L=200mm・1.5 本/ m², 及び φ 16(D16) × L=400mm・0.3 本/ m² をそれぞれ標準とする。 2) 仮設ロープ等による施工を標準とする。</p>	区分	記号	人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%	S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	S ₃	(250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(250 m ² 未満) 35%	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.15	1.05
区分	記号			人力施工による植生工				ネット張工																																																																																
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																		
加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%																																																																																	
		S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 15%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 5%																																																																																	
		S ₂	(500 m ² 未満) 15%	(300 m ² 未満) 35%	(300 m ² 未満) 35%	(300 m ² 未満) 35%	(500 m ² 未満) 15%																																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.15	1.05																																																																																	
区分	記号	人力施工による植生工				ネット張工																																																																																		
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																		
加算率	施工規模	S ₀	(1,000 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(500 m ² 以上) 0%	(1,000 m ² 以上) 0%																																																																																	
		S ₁	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(300 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(500 m ² 以上 1,000 m ² 未満) 10%																																																																																	
		S ₂	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(100 m ² 以上 300 m ² 未満) 40%	(250 m ² 以上 500 m ² 未満) 20%																																																																																	
		S ₃	(250 m ² 未満) 35%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(100 m ² 未満) 50%	(250 m ² 未満) 35%																																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.15	1.05																																																																																	

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																										
VI-2-④-12 吹付砕工	<p>2-2 市場単価の規格・仕様 吹付砕工の規格・仕様区分は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 規格・仕様</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">吹付砕工</td> <td>モルタル・コンクリート</td> <td>梁断面 150 × 150</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 200 × 200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 300 × 300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 400 × 400</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 500 × 500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>〃 600 × 600</td> </tr> <tr> <td>ラス張工</td> <td>法面清掃及びラス・アンカーピン設置</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">加算率 施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 10%</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 15%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 20%</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 30%</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>100m未満 40%</td> <td>250 m²未満 40%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂) 又は (S₃) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K₂) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。</p>	区 分	規格・仕様	単位	吹付砕工	モルタル・コンクリート	梁断面 150 × 150	m		〃 200 × 200		〃 300 × 300		〃 400 × 400		〃 500 × 500		〃 600 × 600	ラス張工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃	全体数量	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	対象数量	区 分	記号	吹付砕工	ラス張工	加算率 施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 10%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 15%	S ₂	100m以上 250m未満 20%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 30%	S ₃	100m未満 40%	250 m ² 未満 40%	補正係数	K ₁	1.10	1.15	K ₂	—	0.75	<p>2-2 市場単価の規格・仕様 吹付砕工の規格・仕様区分は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 規格・仕様</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">吹付砕工</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">モルタル・コンクリート</td> <td>梁断面 150 × 150</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">m</td> </tr> <tr> <td>〃 200 × 200</td> </tr> <tr> <td>〃 300 × 300</td> </tr> <tr> <td>〃 400 × 400</td> </tr> <tr> <td>〃 500 × 500</td> </tr> <tr> <td>〃 600 × 600</td> </tr> <tr> <td>ラス張工</td> <td>法面清掃及びラス・アンカーピン設置</td> <td>m²</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">加算率 施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃ S₄</td> <td>全体数量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数 時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 20%</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 20%</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 30%</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 35%</td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td>50m以上 100m未満 50%</td> <td>100 m²以上 250 m²未満 45%</td> </tr> <tr> <td>S₄</td> <td>50m未満 80%</td> <td>100 m²未満 60%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 施工規模加算率 (S₁)、(S₂)、(S₃) 又は (S₄) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 2. ラス張工で法面清掃を必要としない場合の補正係数 (K₂) は、客土吹付工においてラス張工を施工する場合に適用する。補正により、法面清掃とその際発生する残土の積込・運搬費用が市場単価より除かれる。</p>	区 分	規格・仕様	単位	吹付砕工	モルタル・コンクリート	梁断面 150 × 150	m	〃 200 × 200	〃 300 × 300	〃 400 × 400	〃 500 × 500	〃 600 × 600	ラス張工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S ₄	全体数量	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	対象数量	区 分	記号	吹付砕工	ラス張工	加算率 施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 20%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 20%	S ₂	100m以上 250m未満 30%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 35%	S ₃	50m以上 100m未満 50%	100 m ² 以上 250 m ² 未満 45%	S ₄	50m未満 80%	100 m ² 未満 60%	補正係数	K ₁	1.10	1.15	K ₂	—	0.75
区 分	規格・仕様	単位																																																																																																																										
吹付砕工	モルタル・コンクリート	梁断面 150 × 150	m																																																																																																																									
		〃 200 × 200																																																																																																																										
		〃 300 × 300																																																																																																																										
		〃 400 × 400																																																																																																																										
		〃 500 × 500																																																																																																																										
		〃 600 × 600																																																																																																																										
ラス張工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²																																																																																																																										
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																									
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																									
	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃	全体数量																																																																																																																									
	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																								
		ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	対象数量																																																																																																																								
区 分	記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																																									
加算率 施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																																									
	S ₁	250m以上 500m未満 10%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 15%																																																																																																																									
	S ₂	100m以上 250m未満 20%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 30%																																																																																																																									
	S ₃	100m未満 40%	250 m ² 未満 40%																																																																																																																									
	補正係数	K ₁	1.10	1.15																																																																																																																								
K ₂		—	0.75																																																																																																																									
区 分	規格・仕様	単位																																																																																																																										
吹付砕工	モルタル・コンクリート	梁断面 150 × 150	m																																																																																																																									
		〃 200 × 200																																																																																																																										
		〃 300 × 300																																																																																																																										
		〃 400 × 400																																																																																																																										
		〃 500 × 500																																																																																																																										
		〃 600 × 600																																																																																																																										
ラス張工	法面清掃及びラス・アンカーピン設置	m ²																																																																																																																										
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																																																																									
加算率 施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																																									
	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S ₄	全体数量																																																																																																																									
	補正係数 時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																																								
		ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	対象数量																																																																																																																								
区 分	記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																																									
加算率 施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																																																									
	S ₁	250m以上 500m未満 20%	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 20%																																																																																																																									
	S ₂	100m以上 250m未満 30%	250 m ² 以上 500 m ² 未満 35%																																																																																																																									
	S ₃	50m以上 100m未満 50%	100 m ² 以上 250 m ² 未満 45%																																																																																																																									
	S ₄	50m未満 80%	100 m ² 未満 60%																																																																																																																									
補正係数	K ₁	1.10	1.15																																																																																																																									
	K ₂	—	0.75																																																																																																																									

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																												
VI-2-④-13 吹付砕工	<p>2-4 加算額 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算額の適用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">規格・仕様</th> <th style="width: 50%;">適用基準</th> <th style="width: 20%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">加算額</td> <td>水切モルタル・コンクリート</td> <td>水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m³</td> </tr> <tr> <td>表面コテ仕上げをする場合</td> <td>吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> <tr> <td>間詰モルタル・コンクリート</td> <td>間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費 = (設計単価(注1) × 設計数量) + 加算額総金額(注2) (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (1 + S₀又はS₁, S₂又はS₃/100) × (K₁ × K₂) (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">計算方法 縦枠 : $H \times \{ (L - W) \div B + 1 \}$ 横枠 : $b \times \{ (L - W) \div B \} \times \{ (H - W) \div A + 1 \}$</p> <p>(2) 土質及び法勾配は問わない。 (3) モルタル・コンクリートの強度は18N/mm²程度以上とする。 (4) 異形棒鋼の材質はSD295, SD345を問わない。 (5) スターラップ(梁断面サイズ400×400以上)及び水抜パイプの有無は問わない。 (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 (7) 主アンカー(法枠交点部のアンカー)の種類による市場単価の適用の可否は次表による。 また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー(アンカーピン)の長さは1.0m以内とする。</p>		規格・仕様	適用基準	単位	加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³	<p>2-4 加算額 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算額の適用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">規格・仕様</th> <th style="width: 50%;">適用基準</th> <th style="width: 20%;">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">加算額</td> <td>水切モルタル・コンクリート</td> <td>水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m³</td> </tr> <tr> <td>表面コテ仕上げをする場合</td> <td>吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m²</td> </tr> <tr> <td>間詰モルタル・コンクリート</td> <td>間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td style="text-align: center;">m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出 直接工事費 = (設計単価(注1) × 設計数量) + 加算額総金額(注2) (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (1 + S₀又はS₁, S₂, S₃又はS₄/100) × (K₁ × K₂) (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">計算方法 縦枠 : $H \times \{ (L - W) \div B + 1 \}$ 横枠 : $b \times \{ (L - W) \div B \} \times \{ (H - W) \div A + 1 \}$</p> <p>(2) 土質及び法勾配は問わない。 (3) モルタル・コンクリートの強度は18N/mm²程度以上とする。 (4) 異形棒鋼の材質はSD295, SD345を問わない。 (5) スターラップ(梁断面サイズ400×400以上)及び水抜パイプの有無は問わない。 (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。 (7) 主アンカー(法枠交点部のアンカー)の種類による市場単価の適用の可否は次表による。 また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー(アンカーピン)の長さは1.0m以内とする。</p>		規格・仕様	適用基準	単位	加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³
	規格・仕様	適用基準	単位																											
加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³																											
	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²																											
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³																											
	規格・仕様	適用基準	単位																											
加算額	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³																											
	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げする場合、設計数量にしたがって加算する。	m ²																											
	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m ³																											

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	名 称	型 番	【用途関係】				積算		※		本積算対応		備 考
			歩道適用	歩道専用	仕様有り	設置方向	伸縮量 (mm)	積算単価 (kg/m)	本体重量 (kg/1.8m)	分類	形式	本体価格に含む	
橋 梁 製 造	ZMS-J型伸縮継手	ZMS-II-20,35,50,50P	○		○	○	20~50	6.24	60.4~161.1	○	○	○	積算単価別注
		ZMS-III-200,350,500,50P	○		○	○	20~50	6.24	72.0~194.7	○	○	○	二重止付構造付 積算単価別注
橋 梁 製 造	ZMA-J型伸縮継手	ZMA-80,80,110,180	○		○	○	60~180	17.39~33.55	57.48~168.74	○	○	○	積算単価別注
		ZMA-80M,80M,110M,180M	○		○	○	60~180	17.52~33.71	61.28~174.96	○	○	○	二重止付構造付 積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	TR-50	○		○	○	60~180	12.89~14.38	91.28~151.92	○	○	○	
		ZS-20V,30V	○		○	○	20~30	6.2	55.0~66.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZS-40V	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○	
		ST-J型伸縮継手	○		○	○	20~80	6.2~8.4	64.2~166.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ST-80S	○		○	○	80	8.4	162.3	○	○	○	積算単価別注
		ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~100	6.2	61.1~129.5	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~30	6.2	37.8~38.3	○	○	○	積算単価別注
		ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~30	6.2	42.3~44.8	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ALJ-40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○	
		SBH-40	○		○	○	40	4.0	40.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	SBH-80,80	○		○	○	80~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○	
		ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20~50,60	1.56	50~100	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20,35,50	1.56	41~48	○	○	○	
		ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	60,80,100	1.56	69~77	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20,30	1.56	41.4~45	○	○	○	積算単価別注

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製 作 会 社 名	名 称	型 番	【用途関係】				積算		※		本積算対応		備 考
			歩道適用	歩道専用	仕様有り	設置方向	伸縮量 (mm)	積算単価 (kg/m)	本体重量 (kg/1.8m)	分類	形式	本体価格に含む	
橋 梁 製 造	ZMS-J型伸縮継手	ZMS-II-20,35,50,50P	○		○	○	20~50	6.24	60.4~161.1	○	○	○	積算単価別注
		ZMS-III-200,350,500,50P	○		○	○	20~50	6.24	72.0~194.7	○	○	○	二重止付構造付 積算単価別注
橋 梁 製 造	ZMA-J型伸縮継手	ZMA-80,80,110,180	○		○	○	60~180	17.39~33.55	57.48~168.74	○	○	○	積算単価別注
		ZMA-80M,80M,110M,180M	○		○	○	60~180	17.52~33.71	61.28~174.96	○	○	○	二重止付構造付 積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	TR-50	○		○	○	60~180	12.89~14.38	91.28~151.92	○	○	○	
		ZS-20V,30V	○		○	○	20~30	6.2	55.0~66.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZS-40V	○		○	○	40	6.2	67.5	○	○	○	
		ST-J型伸縮継手	○		○	○	20~80	6.2~8.4	64.2~166.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ST-80S	○		○	○	80	8.4	162.3	○	○	○	積算単価別注
		ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~100	6.2	61.1~129.5	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~30	6.2	37.8~38.3	○	○	○	積算単価別注
		ZMJ-20,30,50,70,100	○		○	○	20~30	6.2	42.3~44.8	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ALJ-40,50	○		○	○	40~50	6.2	55.3~58.1	○	○	○	
		SBH-40	○		○	○	40	4.0	40.5	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	SBH-80,80	○		○	○	80~80	4.0	53.8~60.1	○	○	○	
		ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20~50,60	1.56	50~100	○	○	○	積算単価別注
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20,35,50	1.56	41~48	○	○	○	
		ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	60,80,100	1.56	69~77	○	○	○	
山 橋 化 学	伸縮継手装置	ZMS-J型伸縮継手装置	○		○	○	20,30	1.56	41.4~45	○	○	○	積算単価別注

VI-2-⑥-5
橋梁付属物工

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
VI-2-⑧-6 道路標識設置工	<p>(注) 施工規模加算 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.16 加算率・補正係数の数値(設置工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th>標識柱・基礎</th> <th colspan="3">標識柱</th> <th colspan="3">標識板</th> <th colspan="2">添架式標識板取付金具</th> <th rowspan="2">基礎</th> </tr> <tr> <th>路側式</th> <th>片持式</th> <th>門型式</th> <th>案内(新設)</th> <th>案内(移設)</th> <th>案内以外</th> <th>信号・照明柱</th> <th>歩道橋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>5基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>5基以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>3~4基 15%</td> <td>2基 40%</td> <td>2基 40%</td> <td>10㎡未満 5%</td> <td>10㎡未満 30%</td> <td>3~4基 15%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>2基以下 25%</td> <td>1基 100%</td> <td>1基 100%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2基以下 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.05</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.30</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.05</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.15</td> <td>1.25</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>障害物のある場合</td> <td>K₃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>門型式標識柱の基礎の場合</td> <td>K₄</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>景観色塗装柱の場合</td> <td>K₅</td> <td>1.10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 「案内以外」は、警戒・規制・指示・路線番号標識に適用する。 2. 標識板設置の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。ただし、1工事において設置、及び撤去の作業がある場合は、設置・撤去それぞれの数量で判定する。</p> <p style="text-align: center;">表2.17 加算率・補正係数の数値(撤去工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th>標識柱・基礎</th> <th colspan="3">標識柱</th> <th colspan="2">標識板</th> <th>添架式標識板</th> <th rowspan="2">基礎</th> </tr> <tr> <th>路側式</th> <th>片持式</th> <th>門型式</th> <th>案内</th> <th>案内以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>5基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>5基以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>3~4基 15%</td> <td>2基 40%</td> <td>2基 40%</td> <td>10㎡未満 30%</td> <td>3~4基 15%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>2基以下 25%</td> <td>1基 100%</td> <td>1基 100%</td> <td>—</td> <td>2基以下 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 標識板撤去の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。ただし、1工事において設置、及び撤去の作業がある場合は、設置・撤去それぞれの数量で判定する。</p>	区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板取付金具		基礎	路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋	加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	—	S ₁	3~4基 15%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 5%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	—	S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	—	—	2基以下 25%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25	障害物のある場合	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	—	—	—	—	—	—	—	—	区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板	基礎	路側式	片持式	門型式	案内	案内以外	加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	S ₁	3~4基 15%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	—	2基以下 25%	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35	<p>(注) 施工規模加算 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.16 加算率・補正係数の数値(設置工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th>標識柱・基礎</th> <th colspan="3">標識柱</th> <th colspan="3">標識板</th> <th colspan="2">添架式標識板取付金具</th> <th rowspan="2">基礎</th> </tr> <tr> <th>路側式</th> <th>片持式</th> <th>門型式</th> <th>案内(新設)</th> <th>案内(移設)</th> <th>案内以外</th> <th>信号・照明柱</th> <th>歩道橋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>5基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>5基以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>3~4基 25%</td> <td>2基 40%</td> <td>2基 40%</td> <td>10㎡未満 5%</td> <td>10㎡未満 30%</td> <td>3~4基 15%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>2基以下 35%</td> <td>1基 100%</td> <td>1基 100%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2基以下 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.05</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.30</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.05</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.15</td> <td>1.25</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>障害物のある場合</td> <td>K₃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>門型式標識柱の基礎の場合</td> <td>K₄</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>景観色塗装柱の場合</td> <td>K₅</td> <td>1.10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 「案内以外」は、警戒・規制・指示・路線番号標識に適用する。 2. 標識板設置の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。ただし、1工事において設置、及び撤去の作業がある場合は、設置・撤去それぞれの数量で判定する。</p> <p style="text-align: center;">表2.17 加算率・補正係数の数値(撤去工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th>標識柱・基礎</th> <th colspan="3">標識柱</th> <th colspan="2">標識板</th> <th>添架式標識板</th> <th rowspan="2">基礎</th> </tr> <tr> <th>路側式</th> <th>片持式</th> <th>門型式</th> <th>案内</th> <th>案内以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>5基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>3基以上 0%</td> <td>10㎡以上 0%</td> <td>5基以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>3~4基 25%</td> <td>2基 40%</td> <td>2基 40%</td> <td>10㎡未満 30%</td> <td>3~4基 15%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>2基以下 35%</td> <td>1基 100%</td> <td>1基 100%</td> <td>—</td> <td>2基以下 25%</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.50</td> <td>1.25</td> <td>1.35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 標識板撤去の施工規模は、標識板の1枚当りの面積区分によらず1工事の全体数量で判断する。ただし、1工事において設置、及び撤去の作業がある場合は、設置・撤去それぞれの数量で判定する。</p>	区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板取付金具		基礎	路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋	加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	—	S ₁	3~4基 25%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 5%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	—	S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	—	—	2基以下 25%	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25	障害物のある場合	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	—	—	—	—	—	—	—	—	区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板	基礎	路側式	片持式	門型式	案内	案内以外	加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	S ₁	3~4基 25%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	—	2基以下 25%	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35
区分	記号			標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板取付金具			基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		S ₁	3~4基 15%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 5%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	—	—	2基以下 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	障害物のある場合	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板	基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		路側式	片持式	門型式	案内	案内以外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₁	3~4基 15%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	—	2基以下 25%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板			添架式標識板取付金具		基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		S ₁	3~4基 25%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 5%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	—	—	2基以下 25%	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	障害物のある場合	K ₃	—	—	—	—	—	—	—	—	1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	門型式標識柱の基礎の場合	K ₄	—	—	—	—	—	—	—	—	1.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
区分	記号	標識柱・基礎	標識柱			標識板		添架式標識板	基礎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		路側式	片持式	門型式	案内	案内以外																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	10㎡以上 0%	5基以上 0%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₁	3~4基 25%	2基 40%	2基 40%	10㎡未満 30%	3~4基 15%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	—	2基以下 25%	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

令和5年度 土木工事標準積算基準書(対照表)

項目	旧	新																																																																																																								
VI-2-⑭-4 鉄筋挿入工 (ロックボルト工)	<p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。</td> <td>S₁ S₂</td> </tr> <tr> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合</td> <td>現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.5 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(200m以上) 0%</td> <td>(200m以上) 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(100m以上 200m未満) 10%</td> <td>(100m以上 200m未満) 10%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(100m未満) 25%</td> <td>(100m未満) 25%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数量 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂)</p>	区分		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。	S ₁ S ₂	時間的制約を受ける場合	K ₁	補正係数	施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	区分	記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	-	S ₁	(100m以上 200m未満) 10%	(100m以上 200m未満) 10%	-	S ₂	(100m未満) 25%	(100m未満) 25%	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-	<p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。</td> <td>S₁ S₂</td> </tr> <tr> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合</td> <td>現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表2.5 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>(200m以上) 0%</td> <td>(200m以上) 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>(100m以上 200m未満) 20%</td> <td>(100m以上 200m未満) 20%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>(100m未満) 35%</td> <td>(100m未満) 35%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 施工規模加算率 (S₁) 又は (S₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注)×設計数量 (注) 設計単価=標準の市場単価×(1+S₀ or S₁ or S₂/100)×(K₁×K₂)</p>	区分		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。	S ₁ S ₂	時間的制約を受ける場合	K ₁	補正係数	施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量	区分	記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	-	S ₁	(100m以上 200m未満) 20%	(100m以上 200m未満) 20%	-	S ₂	(100m未満) 35%	(100m未満) 35%	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-
区分		適用基準	記号	備考																																																																																																						
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																						
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。	S ₁ S ₂																																																																																																							
		時間的制約を受ける場合	K ₁																																																																																																							
補正係数	施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																																						
	区分	記号	現場条件																																																																																																							
I			II	III																																																																																																						
加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	-																																																																																																					
		S ₁	(100m以上 200m未満) 10%	(100m以上 200m未満) 10%	-																																																																																																					
		S ₂	(100m未満) 25%	(100m未満) 25%	-																																																																																																					
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																																																					
	法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																																																					
区分		適用基準	記号	備考																																																																																																						
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																						
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を加算率で加算する。	S ₁ S ₂																																																																																																							
		時間的制約を受ける場合	K ₁																																																																																																							
補正係数	施工基面からの法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	現場条件 I において、法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	対象数量																																																																																																						
	区分	記号	現場条件																																																																																																							
I			II	III																																																																																																						
加算率	施工規模	S ₀	(200m以上) 0%	(200m以上) 0%	-																																																																																																					
		S ₁	(100m以上 200m未満) 20%	(100m以上 200m未満) 20%	-																																																																																																					
		S ₂	(100m未満) 35%	(100m未満) 35%	-																																																																																																					
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																																																					
	法面垂直高さが20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																																																					